

図書館へ行こう

—暮らしのなかに図書館を—

開館時間 10:00~18:00
 ■愛知川図書館 (☎0749-42-4114 FAX0749-42-8484)
 休館日 月・火・祝日・月末水曜日
 ■秦荘図書館 (☎0749-37-4345 FAX0749-37-4309)
 休館日 木・金・祝日・第1水曜日
 ホームページアドレス
<https://www.town.aisho.shiga.jp/toshokan/index.html>

おもちゃがいっぱい

日本懐かし駄玩具大全

堤 哲哉 著 辰巳出版

昭和の駄菓子屋さんの店先に並んでいた「面白ければOK」な何でもありの駄菓子屋玩具。そんな懐かしの「駄玩具」たちが、昭和30年代~50年代のものを中心に大集合しています。



ドキドキ、ワクワクがいっぱい!
 おもちゃの世界をのぞいてみませんか?

生きがいのボランティア おもちゃドクター こわれたおもちゃ直します!

市来 歳世彦 著 泉社

「おもちゃドクター」の仕事は、壊れたおもちゃを直すことです。壊れたおもちゃの来院から退院まで、たくさんのお話や修理方法が紹介されています。



100均グッズ改造ヒーロー大集合

安居 智博 著 平凡社

滋賀県出身の安居さんは、紙製ロボット「カミロボ」で世界的にも評価されている造形作家です。安居さんが身近な日用品を材料にして作り上げた、日用品人形の数々が登場しています。



はじめましての郷土玩具

甲斐みのり 著 グラフィック社

紹介されている320点の郷土玩具は、江戸時代以降に誕生した庶民のためのものがほとんどです。日本各地で受け継がれてきた郷土玩具を見ていると、なんだか懐かしいような、ほっとした気持ちになります。



図書館からのお知らせ

古文書をよむ会

日時 9月8日(金) 14:00~15:00
 9月17日(日) 10:30~11:30
 場所 愛知川図書館
 対象 どなたでも参加いただけます

あたまいきいき音読教室

日時 9月19日(火) 1回目 10:30~11:15
 2回目 13:30~14:15
 場所 秦荘図書館
 対象 どなたでも参加いただけます

秦荘図書館 蔵書点検による休館のお知らせ

休館期間 9月4日(月)~9月9日(土)
 休館中の返却はブックポストをご利用ください。
 また、AV資料(DVD・CDなど)は専用のポストにお返しください。

愛知川図書館 おはなし会

日時 9月30日(土) 14:30~15:00
 場所 愛知川図書館
 対象 3歳くらいから小学生までのお子さんご家族

おひざでだっこのおはなしかい

日時 9月10日(日) 11:00~11:30
 場所 愛知川図書館
 日時 9月12日(火) 10:30~11:00
 場所 秦荘図書館
 対象 2歳くらいまでのお子さんご家族

くまさんといっしょのえほんのじかん

日時 9月16日(土) 10:30~11:00
 場所 秦荘図書館
 対象 3歳くらいからのお子さんご家族

愛荘町は読書のまち「愛荘町まちじゅう読書の宣言」

壺中雑記 (26) — 歴史文化博物館から —

国の登録有形文化財 旧近江銀行愛知川支店

中山道愛知川宿街道交流館(愛知川ふれあい本陣)の情報発信施設として保存活用されている旧近江銀行愛知川支店は、令和元年(2019年)に国の登録有形文化財に登録されています。

中山道について

江戸時代、徳川家康が全国統治のため江戸から地方に至る中山道、東海道、甲州街道、日光街道、奥州街道の五街道を幕府直轄の主要街道として、2~3里ごとに宿場を置きました。宿場には、大名らが宿泊する本陣や脇本陣、一般旅行者のための旅籠屋など宿泊施設が設置されました。街道や宿場など交通網の整備がされ、参勤交代や旅人が往来し賑わうようになりました。五街道の内の一つである中山道は、江戸の日本橋と京都の三条を内陸経路で結ぶ街道です。その内草津追分以西にかけては東海道と重なります。江戸から京都までは約500kmで67箇所(65番目)の宿場が設置され、愛知川宿は高宮宿と武佐宿の間に設置された65番目の宿場になります。



▲国の登録有形文化財プレートの除幕式

旧近江銀行愛知川支店は、本店に次いで開設され、大正15年(1926年)に中山道沿いの現在の場所に移転した銀行です。鉄筋コンクリート造平屋建てで、建物内は天井の高い一室となっており、背面には二階建ての金庫棟が接続しています。県内の鉄筋コンクリート造の建造物としては初期の時代のもので、設計者は不詳ですが、外観の中央部を柱で区切り装飾を集中させる意匠は、当時の関西圏で見られた新しい手法を取り入れたものとなっています。本建築は意匠、構造共に20世紀初めの関西の先進的な建築をよく表し、地域の近代化を象徴する存在です。

しかし、銀行として利用された期間は短く、銀行の閉店後は長らく工場等として使われました。平成30年(2018年)に整備改修された後は、愛知川宿の歴史的なまちなみの保全や新たな観光交流の拠点となる中山道愛知川宿街道交流館として保存活用されています。



▲中山道愛知川宿街道交流館(旧近江銀行愛知川支店)

中山道愛知川宿街道交流館 (旧近江銀行愛知川支店)の 国の登録有形文化財

そんな中山道愛知川宿ですが、明治以降、本陣・脇本陣は、役割を終え、解体され、新たな建物が建設されました。現在の中山道愛知川宿街道交流館(旧近江銀行愛知川支店)の建物です。旧近江銀行愛知川支店の母体となる旧近江銀行は、伊藤忠兵衛、山中利右衛門、下郷傳平、阿部市郎兵衛ら近江商人が中心となって明治27年(1894年)に資本金50万円(現在の換算で約100万円)の株式会社として設立された銀行です。本店は将来的な発展を期待し大阪に置きました。

中山道沿いにある旧近江銀行愛知川支店は、令和元年(2019年)9月10日付けで国の登録有形文化財に登録されています。同年12月18日には、旧近江銀行愛知川支店の国の登録有形文化財プレート除幕式が開催されました。県内でも近代化を象徴する歴史的建造物の一つであることが評価されています。

歴史文化博物館 学芸員
 竹村 吉史